



西
堺市 **中区老連** 55
Nov.

生きがい・健康・教養を高める
老人クラブ広報紙 すこやか老友

初開催！ ディスコン交流会



記事は2ページに掲載しています



健康の維持・増進に 努めよう

中区老人クラブ連合会
会長 玉山 貴史

今夏は連日の酷暑、想定外の台風21号と自然災害が相次いで発生しましたが、被災者の会員さまには心からお見舞い申し上げます。また、常日頃は区老連にご支援、ご協力をいただきありがとうございますとさせていただきます。

市老連主催の七〇〇〇人会員増強運動五カ年計画が三年度で最終年度になります。中区老連の会員数は、平成三十年五月一日現在

在四八八五人で、校区数は十二校区連合会で、単位クラブ数は四十九クラブです。前年度比で二・三% (二・三) 減少となりました。社会環境が急速に変化している状況下で、皆さまには身近にいる適齢期の方々に声掛けをしていただ

いています。なかなか理解を得られない状況ですが、引き続き声掛けをお願い致します。



「あこがし」

中区長 光齋かおり

中区長の光齋でございます。中区老人クラブ連合会の皆さまにおかれましては、

平素は中区行政の各般にわたり温かいご理解、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

今年の夏は、猛暑、酷暑に襲われました。それに加え、台風の暴風による被害や、大雨、地震など、災害が多く発生しています。被害に遭われた方々には、心

からお見舞い申し上げます。中区でも、とくに台風21号の暴風により、停電や倒木、家屋の損壊など、大きな被害がありました。多くの災害「ミ」が発生し、堺市では担当課が無料で収集いたしました。その際に、地域の自治会やご近所の方々が協力して集めていただいたおかげで、スムーズな回収につながったと聞いております。発災時には、

市老連主催の会員増強運動の一環として、単位老人クラブ会長研修会兼会員増強推進本部大会が七月二十七日に総会福祉会館で行われ、平成二十九年度において四十九人の新規クラブを発足された東陶器校区さまに市老連会長より特別表彰が授与されました。同時に単位クラブで五人以上会員が増えた土師校区の土師百寿会さま、福田校区の西中高砂会さま、八田荘校区の八寿第2クラブさまに特別表彰が授与されました。厳しい状況下の中で、日常的に一人一人に根気よく声掛けをしていただ

努力の結果だと思えます。医療技術の向上で長寿社会が進む中、健康づくりと生きがいを持って地域社会の支えの輪を広げることが大切です。これからは健康寿命の延伸を目指し、自分らしい健康の維持・増進とともに、自立した生活を送ることが大切だと思

います。最後に、今後も健康で楽しく、魅力ある区老連を目指して役員一同取り組んでまいりますので、校区長さまはじめ会員の皆さまのより一層のご支援、ご協力をお願い致します。

まず自分や家族の命を守る事が最優先ですが、地域の皆さままで協力していただくことも大切です。ふたたびご近所の方々とのコミュニケーションを通じ、防災の意識を高めていただけたらと思います。さて、季節の移り変わりが、皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしていただくか、身体を動かすに良い季節ですね。堺市が啓発しているものに「大切なあ・し・た」があります。健康長寿のための三つの柱は、あるく「あ」、しゃべる「し」、たべる「た」です。この三つのことを心

がけることが、健康づくりにつながるというのを、「大切なあ・し・た」と称して、市民の方々に広くお知らせしています。皆さまも、ぜひ、この「大切なあ・し・た」を実践していただき、いつまでもお元気で活躍されますことを期待しております。

最後になりましたが、貴クラブのますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、今後とも、中区の地域力向上のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。



中区老連主催 初のディスコン交流会開催!

会員の健康寿命の延伸と仲間づくりを目的に、中区老人クラブ連合会として初めての「ディスコン交流会」を10月24日15時から原池公園体育館で開催しました。

深井校区2チーム、東陶器校区2チーム、宮園校区1チーム、西陶器校区1チームの合計6チームがリーグ戦方式でA・Bコート同時に試合を行いました。試合前のコート周辺では、どこからかワイワイガヤガヤと大変盛り上がり、全員競技開始のホイッスル待ち。最初の第一投でポイントに命中!! またディスクに弾かれてポイントが動いたり、投げたディスクが立ったまま転がったり、また相手のディスクにぶつかったり、大歓声

今号の表紙

を上げたり、反対に相手に弾き飛ばされて残念がる一幕も。いろんなハプニングで大声で叫んだり、時として童心に帰り大はしゃぎでゲームを楽しんでいました。体を動かし、汗をかき、笑顔でコミュニケーションを図ることで初めて出会う会員同士が一つになれる、ディスコンはそんな楽しいスポーツだと思

います。今回はチーム参加の会員以外に、たくさんの参加者と一緒にお試しゲームも行いました。

今後、中区老人クラブ連合会でたくさんのチームが生まれることを期待しています。最後に今回の開催に当たり、市老連の橋本会長、東区老連の藤森会長および東さん、城岡さん、才木さん、廣島さんにお世話になり、誠にありがとうございました。

私たちは、堺市中区老人クラブ連合会の活動を応援しています



中区老人クラブ連合会の皆さまにおかれましては、平素より社会福祉協議会における地域福祉推進のための事業に多大なるご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、十月一日から始まりました「赤い羽根」共同募金にも、朝早くから深井駅周辺にて、街頭募金運動にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

共同募金運動は、「じぶんのまちを良くするしくみ」として、子どもたちの安全や高齢者の日常的な生活支援、障がい者の社会参加等、さまざまな地域課題の解決や、災害時支援、それらに取り組んでいる民間の活動を財源面から支援するための運動です。



共同募金運動へのご協力に感謝
堺市社会福祉協議会
中区事務所長 藤原 計子

戦後すぐの昭和二十二年に市民主体の民間運動として始まり、大変歴史の長い活動であります。私も物心がついた頃からあつた記憶しており、赤い羽根が欲しくて募金してもらっていました。胸のちよつと上に風で揺らぐ「赤い羽根」をつける、ちよつと嬉しかったのを思い出します。

近年では、核家族化が進み、単独世帯、夫婦のみの世帯、夫婦ともに六十五歳以上の世帯などが増加しているのが現状です。いわゆる少子高齢化、特に六十五歳以上の人口割合が二十一%を超えている超高齢社会だと言われています。

したがって、そんな中で、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう、地域福祉の一層の充実が図られることが求められているのです。

今後、そういった趣旨をご理解いただき、共同募金運動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

堺市 中保健センターからのお知らせです

堺市中保健センター 川森 秀子

結核 は、過去の病気ではありません!!

大阪府の結核り患率(結核り患率:人口10万人対の患者発見数)
全国ワースト1位!!
堺市は患者の6割以上が**高齢者**

高齢者の結核の症状

一般に、肺結核では、咳・たん・発熱などが症状として現れます。しかし、高齢者はこのような症状がはっきりと出ないことがあります。高齢者ご自身や身近な方が早く症状や変化に気づいて、**早期に受診**することが大切です。



なぜ高齢者の結核が多い?

高齢者は、むかし結核がまん延していた時代に多くの方が感染を受けています。何十年も経ってから、加齢や病気によって体の抵抗力(免疫)が落ちると、眠っていた結核菌が目覚め、再び活動を始め発病しやすくなるといわれています。

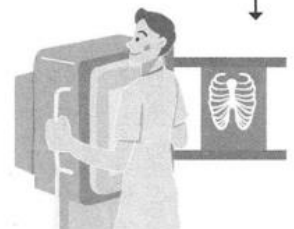


症状がなくても**健康診断**を受けましょう



健康診断を受けよう!

症状がなく、元気に過ごしていても、すでに発病していることがあります。特に65歳以上の方は、**年1回「胸部エックス線検査」**を含めた健康診断を受けましょう。堺市では肺がん・結核検診を実施しています。検診のお問い合わせは中保健センターへ



☎ 072-270-8100

結核に関するご相談は 堺市保健所 感染症対策課 ☎072-222-9933

私たちは、堺市中区老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成30年度 堺市老人クラブ連合会長 表彰状・感謝状受賞者 (敬称略)

優良老人クラブ	
壮熟老会(代表者 黒木 秀典)	(八田荘西)

老人クラブ育成功労者	
山中 巖(深井)	
坂田 美恵子(宮園)	
斎藤 昌子(宮園)	
森本 恭子(宮園)	
西野 邦雄(西陶器)	
塚田 昌子(西陶器)	
大野木 義巳(西陶器)	
琴 政 男(西陶器)	
出 麴 裕 一(西陶器)	

退任校区会長	
山中 巖(深井)	
山本 明道(宮園)	
形部 清二(福田)	
永田 善一(八田荘)	

おめでとうございます

十月四日、堺市総合福祉会館六階ホールで平成三十年度堺市高齢者福祉大会が開催されました。昨年は台風の影響で中止となり、二年ぶりとなった本大会に市内七区から大勢の会員が参加しました。第一部式典では開式のこと



代表で表彰状を受ける斎藤さん

その後、万歳三唱、閉式のことばで式典が終了。少憩をはさみ第二部アトラクションでは市内七区の代表が多彩な演技を披露しました。中区は宮園寿会が舞台に立ち、民謡踊「お座敷小唄」でにぎやかにトリを飾りました。

は、国歌斉唱、市民憲章朗読に続き、橋本市老連会長があいさつに立ちました。その後、竹山市長はじめ来賓の方々から祝辞をいただき、表彰に移りました(被表彰者名は別記)。

平成30年度 堺市高齢者福祉大会 中区から1クラブ・12名が受賞



最後はお待ちかねの福引抽選会

最後は皆さんお待ちかねの福引抽選会。用意された金賞(お買物券)三本を含む三十八本の当たりくじの番号が読み上げられると、客席から拍手と歓声がわき起こりました。

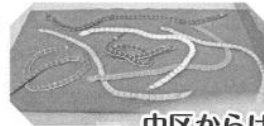


アトラクションのトリを飾った宮園寿会

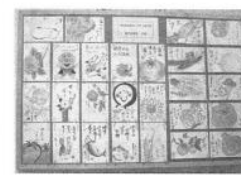
多彩な分野の作品が勢ぞろい 第42回 堺市高齢者作品展

7月6日から10日の5日間にわたり、堺市立東文化会館2階ギャラリーで「第42回堺市高齢者作品展」が開催されました。

堺市各区から書・絵画・手芸・写真などの作品が区ごとに展示され、中区からは60点の力作が展覧されました。



中区からは60作品が展覧



平成30年度 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

六月十四日、十五日の二日間にわたり、平成三十年度近畿ブロック老人クラブリーダー研修会が、奈良県橿原市のTHE KASHIHARA(旧橿原ロイヤルホテル)において開催されました。

「のぼそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」
「研究討議」
中区老連からは土山会長・阪田副会長・廣島女性部部長の三名が第一分科会に参加。廣島女性部部長は座長を務めました。

「第三分科会」
「多世代や地域団体との交流による地域づくり」
「第四分科会」
「会員加入促進に向けた老人クラブづくり」



堺市老連から参加の皆さん

<市老連主催> 第37回 ゲートボール大会

十月二十六日、金岡公園陸上競技場で堺市老連主催の第三十七回ゲートボール大会が開催され、市内七区から予選を勝ち抜いた計四十四チーム、総勢二七五名が集結し、激戦を繰り広げました。

開会式では、国旗と市老連旗が高らかに掲げられる中、酒井大会実行委員長の開会宣言、橋本大会会長のあいさつ、来賓あいさつと続き、竹山市長と橋本会長による始球式を経て、いよいよプレー開始となりました。



十月二十六日、金岡公園陸上競技場で堺市老連主催の第三十七回ゲートボール大会が開催され、市内七区から予選を勝ち抜いた計四十四チーム、総勢二七五名が集結し、激戦を繰り広げました。

ループとし、八面のコートに分かれ各チーム三試合対戦のリンク戦形式で行われ、グラウンドにはチームメイトに指示を出す声や、ナイスプレーをたたえる声が響きわたりました。参加者皆さんの優勝にかける熱



見事、コート優勝を果たした新家会Bチームの皆さん。八木主将は「今日は新家会として最高のゲームでした。最後の試合は得失点差でもリードしていたので、リラックスしてプレーできました」と納得の表情。コート優勝がかかった最終戦では、同じ新家会Aチームの応援も力になりました。土と芝というグラウンドの違いに戸惑いもあったようですが、週6日の練習成果が存分に発揮されました。



<市老連主催> 第17回 グラウンド・ゴルフ決勝大会

九月二十六日、金岡公園陸上競技場において、堺市老連主催の第十七回グラウンド・ゴルフ決勝大会が開催されました。この大会には、市内七区の予選を勝ち抜いた精鋭二四八名が参加、晴れ渡る秋空の下で熱戦を繰り広げました。



開会式では国旗・市老連旗が掲揚され、酒井大会実行委員長によって開会宣言が発表されました。橋本大会会長のあいさつが行われた後、ルール説明と選手宣誓、始球式が執り行われ競技開始となりました。

今回のコースは八ホール三ラウンド。参加者は赤・青・黄と三つのコースに分かれてプレーし、合計得点で個人順位が決定します。

コースを回るグループの組み合わせは各区混合のメンバーで編成。今回初めて一緒にプレーする方も多くいましたが、ゲームが進むにつれ「ナイスショット!」「今の惜しかったね」と声を掛け合うなど、互いのプレーをたたえあう和やかな雰囲気となりました。

試合終了後、雲行きが怪しくなり突然の降雨に。残念ながら表彰式は中止となりましたが、参加した皆さんの渾身のプレーに大会は大盛り上がりでした。

- ◆ 今大会、中区からは29名が出場、健闘しましたが入賞には至りませんでした。
- ◎中区出場者
- (大会リスト順・敬称略)
- 桑嶋 泰樹(八田荘西)
 - 松村 一行(深井)
 - 西 喜代司(土師)
 - 梶原 伸夫(西陶器)
 - 北野 光子(久世)
 - 森本 恭子(宮園)
 - 浦本 勝三(東深井)
 - 柴田 俊治(福田)
 - 福原多喜子(八田荘西)

- ◎中区出場チーム
- 新家会A 土師B
 - 新家会B 深井中町西
 - 土塔うぐいす
 - 八田荘
 - 平井

会員投稿



生命と宇宙 (その一)

福田校区 米川 誠

棚で偶然、首題の科学雑誌を見つつけ、その夜久しぶりに夜空に輝く星の彼方の広大な宇宙と、生命について思いをはせてみた。

〈宇宙とは〉

宇宙は一般的に、今から一三八億年前に、ビッグバン(大爆発)とインフレーション(膨張)で一部が枝分かれして、無数の宇宙が創成されたという。その後、約一〇〇億年前に天の川銀河ができたと考えられている。私たちの住む地球は、天の川銀河に属し、太陽系宇宙として約四十六億年前に誕生する。誕生したばかりの地球には、微少な惑星

が衝突し、大気には酸素・窒素・メタン・二酸化炭素が含まれていたと考えられている。

原始の海も、約四十三億年前に現れるが、当時の海には酸素が乏しく、二酸化炭素・メタンが多く、鉄・ニッケルなどの金属を触媒に有機物が合成され、やがてアミノ酸や核酸などの生物に欠かせない材料が作られ、最古の生物といわれる「メタン生成菌」が登場する。そして、約二〇〇〇mくらいの深海の熱水噴出孔にて、生命が誕生したといわれている。

〈生命誕生の探索〉

近年、太陽系はどうやって生まれ、地球の生命はどこから来たのか? 手がか

りを求めて日本の探索機「はやぶさ2」が目的地となる小惑星「リュウグウ」に向かっている。小惑星は、太陽系の誕生した四十六億年前の歴史を知るタイムカプセル。地球の生命は、炭素や有機物から生まれ、小惑星の衝突でもたらされたとの仮説がある。地球のよ



「リュウグウ」は距離的にも地球との往復が可能

コマのような形だと分かってきた。「JAXA」の日本技術人は「初代はやぶさ」から「はやぶさ2」にて、生命の起源に迫る。

ところで、宇宙が無数に存在するのなら、地球外生命体(宇宙人)も遠い昔に飛来し、私たちの周りで共存していないか? 日本の縄文時代に、巨大ピラミッドを建設。高度な技術を持った宇宙人が、当時のエジプト人に技術を伝授したのでは? そんなことを考えていると、以心伝心したのが、台所の奥の冷蔵庫の横で、妻が光る金歯を見せながら、不気味にニヤッと笑っている(妻も遠い昔、宇宙からやって来た地球外生命体の末裔では?)。背筋に冷たい戦慄が走った。

敬老の日バスツアーに参加して

東深井校区 水池町ひまわりクラブ

S・S



今夏の記録的な猛暑が続いてきましたが、朝夕めっきり涼しくなりホッと致しております折に台風21号の被害を受け大変な事になり、後片付け等で皆さまお疲れのこととお察し致します。日本列島はぐずついているんでしょ

うか? 思ってもおりませんんことが次々と起こり、大変な世の中になったと思えます。 水池ひまわり会の皆さまと久しくバス二台にて、かつらぎ温泉 八風の湯で敬老会を開催しました。台風後の疲れも忘れ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

きました。日頃、膝や腰が痛いと言いつつ老いを感じ日々を過ごしていました。皆さまのカラオケと踊り等にぎやかに返席することなく元気をいただきました。 これからもお健やかにまだまだ健康寿命が延びそうですので、次回ひまわり会の交流会にも皆さま全員参加できることをお祈り致します。いろいろ準備してくださりました役員皆さま、ありがとうございます。

敬老の日

宮園校区 M・T



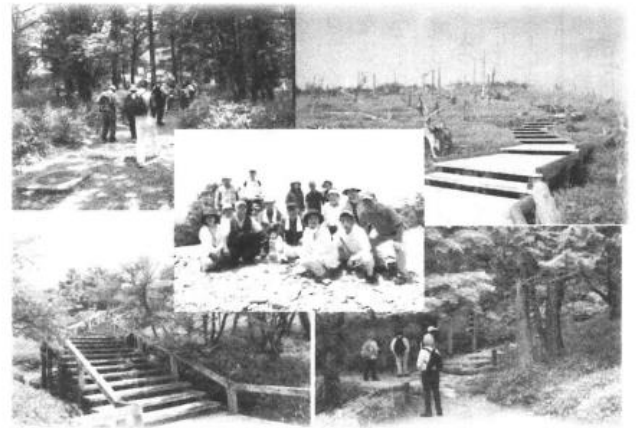
となりの二人の天使の手に、大事そうに持つおはぎが見える。「いつも声かけてくれてありがとう」と恥ずかしそうに差し出す笑顔に胸がいっぱいになった。 安心して子育てできそうにない昨今にも負けず、乳飲み児・幼稚園・学校の三女兒の送り迎えと懸命なお母さんの姿に私は元気をもらい、今日も

無事でありませうようにと見守っている。 このご家族に感謝して、平和な社会の構築あることを願いながら。

会員投稿

当サークルは六年前に「どなたでも、無理なく、ウォーキングを楽しむ」ことをモットーに発足しました。当時地区内では、文化的活動的なサークルが多く、体を動かすことを目的としたサークルをつくろうということになりました。気軽に多くの方の参加を期待し、盛夏や厳冬期を避け、コースも十回程度に設定しました。

当初は、久世地区や東北丘陵内のコースから歩き始め、参加者も十五名程度でした。回を重ねるとともに、近隣府県へとコースを広げ、会員も三十数名に増えました。楽しく歩くことを



50回を迎えるウォーキングサークル

久世校区・高和会 下村 政一

主目的としていますので、里山巡り、〇〇街道、〇〇の道等のコースが自ずと多くなりますが、歴史を探索しての奈良・京都・和歌山方面のお寺、神社、遺跡等に出かけ、頭の体操にも心掛けています。

また、年に一回程度はマイクロバスを利用し、大台ヶ原、友ヶ島、曾爾高原、高野山、熊野古道等に足を延ばし、旅行気分も味わえるようにしています。今年の十二月で五十回を迎えます。

会員は六十歳から八十歳を超える方まで幅広く、男女ほぼ半々です。高齢の男性の方の参加が他のサークルより比較的多いのは、発足に当たった期の期待通りです。この集まりが機会となり、親交を深め、地域活動の活性化につながればと思っています。

また、高齢に伴い、各人に健康の維持・増進が求められるのですが、皆で楽しく一日ウォーキングすることで、よくしゃべり、よく食べ、よく飲んで、会の名称「健歩会」に沿い、その一助になればと願っております。

会員文芸 〈川柳〉

台風が家を荒して逃げて行く
秋まつりみんな喜ぶ太鼓台
聞き取れずみんなにならって空笑い

土師校区 樋口チエ子

校区だより

『私たちの年間活動状況』

毎月一日は公園清掃(二カ所)を実施し、年間延べ四五〇人参加。新年初詣は今年の恵方神社へ参拝、五十人参加。新年会一三〇人参加。小学生との交流グラウンドゴルフを実施。指導者にホールインワンする子供がいた。同じく子供たちに昔よく使った七輪(かんでき)の使い方を教える。七輪に紙を入れ、マッチで火を付け炭を入れて火を起し、やかんに水を入れお湯を沸かす。昔は七輪で煮炊きしたと教える。

対外交流グラウンドゴルフ大会では五町(土塔町・白鷺町・百舌鳥西之町・深井中町・土師町)が参加し、今年も三重県猪の倉温泉へ遠征旅行。二十七人参加。

土師校区ふれあい祭りでは、百寿会活動状況を写真展示でPR。模擬店に参加し、たこ煎販売。好評を得る。

三朝温泉へ慰安旅行。重要文化財・仁風閣見学。三十七人参加。防災訓練は校区で役割分担し、炊き出しを経験。炊き込みご飯六〇〇人前を作る。

東百舌鳥・土師校区で池の清掃、花植え、カラオケ大会参加。二人出演。

小学一年生との交流では昔遊びの伝承。紙ヒコーキ作り・ゴム跳び・こま回し・兜作りなど。当日の新聞を頂きに早朝、役員が販売店へ行く。最後に全員で手をつなぎ「お正月」を合唱する。

敬老の集いに一四〇人参加。昼食を取りながら雑談。余興の「どじょうすくい」を見て最後にビンゴゲーム。真剣なまなざし。大声で笑ったりそれぞれ賞品の花鉢を頂き、笑顔で帰る。

(下田 悦治)

土師校区

私たちは、堺市中区老人クラブ連合会の活動を応援しています

東百舌鳥校区 新家町百寿会

今年の夏は猛暑が続き、大変なお盆となった。私たちも年々高齢となり、大野芝新川墓地の灯籠立ても、今年は大野芝町と新家町の二町で行うこととなった。

八月十二日より十四日まで、朝早くから夜間まで外の作業が多く、体力的にも無理といふことで、二町の墓地委員の方々に頑張ってもらった。



昼の作業としては灯籠の組み立てとお参りに来られた方々への水汲み手伝いや花の入れ替え、掃除の手伝い等させてもらった。夜は七時に灯

籠に火を灯し、御先祖さまをお迎えし、また最後の日にはお送りさせてもらった。点灯された時には何とも言えない美しい光の景色で、きつと御先祖さまも喜んで天国へ戻られたと思う。高齢者には無理な作業もあったと思うが、「灯籠立てを続けて良かったね」と皆さんの声が聞かれた。灯籠立ての行事が皆さんの交流の場となり、良かったと思う。また、お参りくださった方々からも「ありがとう」との声をたくさん頂戴した。



また今後の行事でも、何回かの合同で長く続けられたら良いと思う。皆さんのご協力をお願い致します。(染手 博文)



うちはこんなんやってます 単位クラブ活動だより

校区内六支部唯一のマンション単独での支部老人クラブ会長を仰せつかり感じたことは、朝九時頃になるとデイサービスの送迎車のラッシュで、夕方になると送り届けでにこやかに帰ってくる。話を聞くと「サービが行き届いて満足」とのこと。

支部老人クラブならではの楽しみとしてクラブ活動の充実を図っています。活動とし

西陶器校区 星和台支部

初は月一回、ふれあい喫茶とは別に星和台の住民で囲碁・将棋・手芸等、同じ趣味を持つ人の集まりの場を設ける趣旨で開催されていましたが、



また、「カラオケ部」は集会所に業務用アンプ等中古品を設置して、新曲はネットからカラオケ店に負けない音で月二回楽しんでいきます。

て「星和ふれあい喫茶」「むつみサロン」「ゲートボール部」「カラオケ部」「パソコンクラブ」等があり、「星和ふれあい喫茶」は老人クラブ主催で星和台全体の憩いの場として会員だけでなく、一般の住民も対象に月一回開催しています。最近目新しい試みとして、パンの他にドーナツを選べるようになりました。

現在は手芸クラブのみで、コミュニティセンターの場として手芸小物を制作して「高齢者作品展」や「西陶器まちづくりフェスタ」に出展しています。

その他、「ゲートボール部」ですが、これは西陶器校区代表として活動しております。以前は校区内に多数のチームがありましたが、高齢化のため消滅して、現在、星和台チームが校区代表として活動しています。

中区老連発行の「すこやか老友」が今回から表裏ページをカラーで発行することになりました。記事については、随想・紀行文・体験談 郷土史や俳句・短歌 川柳・写真・絵・書など従来通り多くの会員さまの投稿をお待ちしています。また、四十九単位クラブ内の活動紹介および十二校区内での活動紹介も掲載していく予定です。それ以外に中区内で会員さまが何かが受賞された場合も投稿くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

編集後記

最後は「パソコンクラブ」です。なぜ、教室ではなく「クラブ」なのか？ 始まりは老人クラブ会員や一般住民の方から「子供が結婚して古いパソコンを置いて行った。ちょっと使ってみたいけど子供に聞いたら早過ぎてわかれへん」ネットってなに？ 昔現役の時使ってたけど、今の機械進歩してわかれへんから教えて」等の声があり、マンションの中でアドバイスのできるボランティアを募り、四人のアドバイザーが始まりました。今ではパソコンのさまざまなトラブルやスマホの情報などを交換したり解決したりと、懇談の場としても活動しております。(川本 武志)

◆ご協賛各位への御礼◆

本紙の発行にあたりご協力いただいたご協賛各位に厚く御礼申し上げます。今後も本紙は会員の生きがい・健康・教養を高める一助になるよう内容の充実にも努めますので、末長いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

堺市中区老人クラブ連合会

原稿募集

次号発行は5月末となります。原稿締め切りは4月10日とさせていただきます。お名前、電話番号、所属校区名(堺市中区〇〇校区)を必ず明記してください。文芸作品を投稿される場合は、その種別(短歌・俳句など)を必ずご明記ください。多くの皆さまのご投稿をお待ちしております。

【投稿先】
株博報社
すこやか老友
「堺市中区老連」編集



〒547-0026
大阪市平野区喜連西4-6-69
☎06-6797-0381